



辺野古は普天間の大規模化！！

沖繩の地図を開いてみよう。那覇空港と嘉手納基地の中間に二千七百mの滑走路を擁する普天間基地がある。沖繩戦が終わった後、米軍は住民を北部の收容所に集め、家や畑を押し潰して作った。占領下の私有財産の没収を禁じたハーグ陸戦条約に違反して。時の流れで、飛行機は大型化、高性能化。この基地は米軍の高官さえ「世界一危険な基地」と云う。

辺野古に新基地

普天間の危険を口実に日米両政府は辺野古の海兵隊基地キャンプシュワブの前の海を埋め立て新基地を作ろうとしている。普天間基地の代替と云うが、滑走路は一本から二本に増え、強襲揚陸艦の接岸する岸壁、水陸両用戦車の上陸スロープ、オスプレイ百機体制など、大規模な機能拡張。キャンプシュワブもハーグ陸戦条約に違反して作られた。その沖を埋め立てる拡張が違法なことは自明。

海兵隊とは

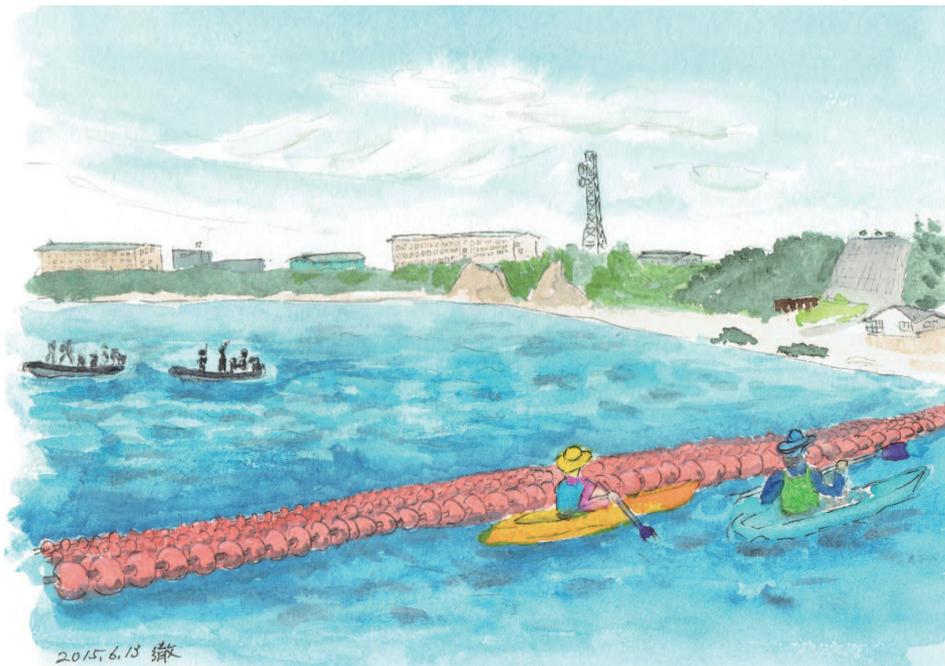
しかも、海兵隊は「大量破壊兵器がある」と云う嘘でイラクに侵攻。全てのイラク人の敵意を感じ、女子供まで殺する部隊。

その海兵隊の基地を大拡張する工事に抗議するカヌーを阻止しようとして、海上保安庁は見張り番をしている。よく考えると、これは暴力団が勝手に作った縄張りの外で、暴力団を守るようなもの。海保が守るべき相手が違うのでは？

みなさんはどう思われますか？

抗議するカヌー

沖繩県名護市辺野古沖
二〇一五年六月



辺野古の沖には美しい海が広がる。底に珊瑚が見える。私の乗った船の先を進む船が海亀を発見したが、さつと潜って行ってしまった。

先に見える海岸はキャンプシュワブ。右の浜は米軍専用海水浴場。数人の若者が泳いでいた。

その海を赤いフロートフェンスで囲み、埋め立て工事の為にボーリング調査が行われている。

長いフェンスのあちこちに抗議のカヌーが散らばる。沖繩ばかりか全国からやって来た若者に混じり初老の人も頑張っている。

カヌーが入るのを阻止しようと海上保安庁がモーターボートで待ち構えている。

米軍基地をなくせば、この浜はリゾートの浜に生まれ変わるのに。